

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-17 高齢者生活支援事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				タイムスコード及び個別事業名	
	主管課	高齢者いきいき課		関連課	40	訪問介護利用者負担減額事業
分野名	健康福祉				40	社会福祉法人利用者負担減額事業補助
目標 (目標値)	低所得者に対して介護保険法外においても負担軽減を図る。				40	紙おむつ等支給事業
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)	1197	紙おむつ等支給事業
	人口	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	16,036千円	12,648千円			
	(国・県)	0千円	123千円		指標と評価	
	(負担金等)	0千円	0千円		指標	紙おむつ等支給達成率
	(一般財源)	16,036千円	12,525千円		評価	◎
	人員配置数	0.4人	0.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人件費	3,746千円	4,714千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	19,782千円	17,362千円		20年度	100%
	市民1人当 りの経費	112円	98円		21年度	100%
	対象者1人 当りの経費				22年度	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				23年度	
					最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 訪問介護利用者負担減額事業と社会福祉法人利用者負担減額事業については、支出がなかった。 紙おむつ等支給事業については、支給件数が増加(20年度1544件→21年度1759件 14%増)し、当初予算金額内での執行ができなかった。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 紙おむつ等支給事業については、予算額を補正増し、対象者の増加に対応した。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 今後ますます高齢化が進展し、紙おむつを必要とする対象者も増加傾向となるが、サービス内容を維持したままでの予算確保が課題となる。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 22年度は、支給枚数の削減、毎月支給から隔月支給への変更などにより、経費削減を行う。また、23年度以降は支給基準の見直しや自己負担金の導入についても検討することが必要になる。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	在宅生活を支えるには必要な施策だが、財源確保がむずかしく、支給基準の見直し等が可能か検討していく必要がある。		評価結果	改善の必要性	必要な事業だが、存続していくための工夫が必要である。
B	有	B	有			
課長名	高齢者いきいき課課長代理 筒谷 正明			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子	